

日本鐵鋼協會記事

理事會 (第8年度第8回) 昭和8年10月4日(水)午後5時本會事務所に於て開會、出席者 理事會長河村曉君、理事俵國一君、水谷叔彦君、渡邊三郎君、松下長久君、鹽田泰介君、評議員 濱田彪君、金子恭輔君、吉川晴十君、三輪時雄君、瀧澤正雄君、委員三島德七君

(今回は都合上理事會、評議員會合併會とせる故從て協議事項も共通せり)。

協議事項

- 1) 日本鐵鋼協會第11回講演大會に關する件、(a、プログラム
- b、晚餐會招待者、c、名古屋側實行委員委囑に關する件、) 可決
- 2) 日本鐵鋼協會第9回研究部會に關する件、(a、議題 電氣製鋼爐の操業並に構造に就き改善すべき點如何。b、委員 各工場推薦委員、本會推薦委員、c、開會順序決定等に關する件、) 可決
- 3) 商工省工業品規格統一調査會より照會の「石炭分析及試験方法規格案」に關する件、原案賛成

4) 入退會者及會員異動に關する件、(自9月7日至10月4日

(イ) 入會承認數 正會員4名 准會員14名 計18名
(ロ) 退會者なし。

5) 其他會務に關する件。

報告事項

- 1) 昭和8年8月中收支決算報告
- 2) 日本工學會提出「メートル法使用に關する意見書」
- 3) 現在會員數(9月30日現在)

以上を審議し午後8時散會せり。

編輯委員會(8年度第7回) 昭和8年9月26日(火) 午後

5時開會 出席者 河村會長、委員石原善雄君、池田正二君、田中清治君、山田良之助君、鹽澤正一君、

協議事項

- 1、第11回講演大會開催上の細目に關する件、
- 2、研究部委員追加に關する件、
- 3、石炭分析及試験方法規格案(商工省案)に關する件、
- 4、鐵と鋼第19年第11號原稿選定に關する件、

鐵と鋼第19年第11號掲選定論文

1、オーステナイト鑄鐵

藤原唯義

2、窒素硬化鋼材の研究

伊丹伊一郎

高尾善一郎

報告事項

1) 日本工學會よりメートル法實行に關する意見書

以上審議し午後8時散會す。

日本鐵鋼協會第9回研究部會 第5回製鋼部會

場所 名古屋市中區御器所町 名古屋高等工業學校講堂、

時日 昭和8年10月15日(日) 午前9時開會

出席委員 60名

議題 電氣製鋼爐の操業並に構造に就き改善すべき點如何。

(後日詳細報告の機會あるべし)

日本鐵鋼協會第11回講演大會 昭和8年10月16—19日迄で豫て會告のプログラム通り舉行し出席者220名にして盛況裡に終了せり(後日詳細報告するものとす)

寄贈書受領

1、古來の砂鐵製鍊法

工學博士 俵國一編著者より

2、五代友厚傳

五代龍作編著者より

以上に對し深厚の謝意を表す。

新入會者

居所又は宛名先	職業及勤務先	會員別	入會者氏名	紹介者
澁谷區松濤町七 (電話青山一五二九)	鐵鋼熱處理研究所長	正會員	飯 征 小 四 郎 君	三 村 島 德 七 郎 氏
淀橋區下落合町四ノ二〇九六 (電話大塚三五三一)	島津製作所常務取締役	"	島 津 源 吉 君	松 村 德 正 氏
横濱市神奈川區篠原町仲手原六〇九	工學士 横濱船渠會社 造機部員	"	石 黒 一 彦 君	三 村 島 德 正 氏
城東區大島町三ノ二七	株式會社	"	青 木 ロ ー ル 製 造 所	三 村 島 德 正 氏
滿洲國奉天造兵所理學試驗室		准會員	加 藤 ヒ ー ト 十 君	村 松 橋 太 郎 氏
大阪市此花區島屋町住友伸銅鋼管會社	技 師	"	東 尾 伸 吉 君	松 田 致 男 氏
福岡縣若松市戸畑鑄物會社若松工場		"	井 上 マ カ シ 喬 君	菊 田 多 利 男 氏
福岡市外九州帝大工學部冶金學教室		"	越 智 ゴ 郎 君	藤 田 守 太 郎 氏
"		"	金 森 政 雄 君	"
名古屋市南區舟原町三ノ六伊藤岩次郎方	大同電氣製鋼所	"	飯 島 醇 一 君	村 松 橋 太 郎 氏
八幡市門田製鐵所合宿所	工學士 製鐵所	"	飯 藤 本 俊 三 君	伊 藤 正 夫 氏
仙臺市東三番町九〇 千葉方	東北帝大學生	"	吉 川 フ ヲ 郎 君	的 場 幸 雄 氏
福岡市外九州帝大工學部冶金學教室	學 生	"	原 本 ト シ 利 雄 君	藤 田 守 太 郎 氏
"	"	"	島 村 ヨ シ 龍 夫 君	"
名古屋市新川町豐田式織機會社	新川工場	"	上 原 盛 一 君	志 村 繁 隆 氏
愛知縣清洲町清洲一六四七	豐田式織機會社	"	黒 井 榮 一 君	"
愛知縣新川町須ヶ口二二八二	"	"	山 本 幸 男 君	"
愛知縣新川町須ヶ口字外町	豐田式織機會社	"	江 崎 善 藏 君	"

死 亡 者

本會准會員 井 上 喬君は去る九月二十三日逝去されたるは洵に哀惜の至りなり茲に謹んで弔意を表す。